

# 2018年度通常総会議案書

2016年5月5日（土曜日）午前10時開会

里山ごんげんさん

669-3572 兵庫県丹波市氷上町谷村字後谷 89 白山権現・後谷城址

## 2018年度 通常総会次第

司会 事務局

1、開会の辞

2、議長選任

3、議事録署名人選任

4、議事

第1号議案

2017年度事業報告に関し承認を求める件

第2号議案

2017年度収支決算報告に関し承認を求める件

監査報告

第3号議案

2018年度事業計画に関し承認を求める件

第4号議案

2018年度予算案に関し承認を求める件

第5号議案

役員改選に関し承認を求める件

5、閉会の辞

特定非営利活動法人バイオマスフォーラムたんば

<http://bf.tamba.tv>

[bf@tamba.tv](mailto:bf@tamba.tv)

## 2017年度事業報告

### 1、地域自然活動「里山ごんげんさんの利用」

#### ●子どもの冒険広場

兵庫県青少年本部が提唱する子どもの冒険広場事業に参加し、里山ごんげんさんでNPOナルクたんばが第2、第3土曜日を担当、私たちは第1、第4土曜日に子どもの冒険広場を開催しました。今年度は子どもの冒険広場の開催をメインにした里山コンサートも含め皆様のご協力で見守り業務を分担しながら継続開催できました。



また、里山ごんげんさんでは、里山の自然の中で遊ぶ楽しさをより多くの子どもたちに知ってもらうため、森の幼稚園、地域の保育園、子ども園、小学校の遠足、自然観察、環境学習の場としても利用していただきました。

#### [解説]子どもの冒険広場とは

子どもたちが、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを原則に、土・木・水などの自然の素材を自由に使って、プレーリーダーや地域の大人が見守る中で、自由な発想でいきいきと遊ぶことができる場所です。そこには「今日は何をして遊ぶぞ!」という大人が考えたプログラムは一切ありません。冒険ひろばでは、やってきた子どもたち一人ひとりがその場で考え、プレーリーダーは、子どもたちに遊びの素材やヒントを提供し、子どもの視線に立って遊びを支え見守ります。

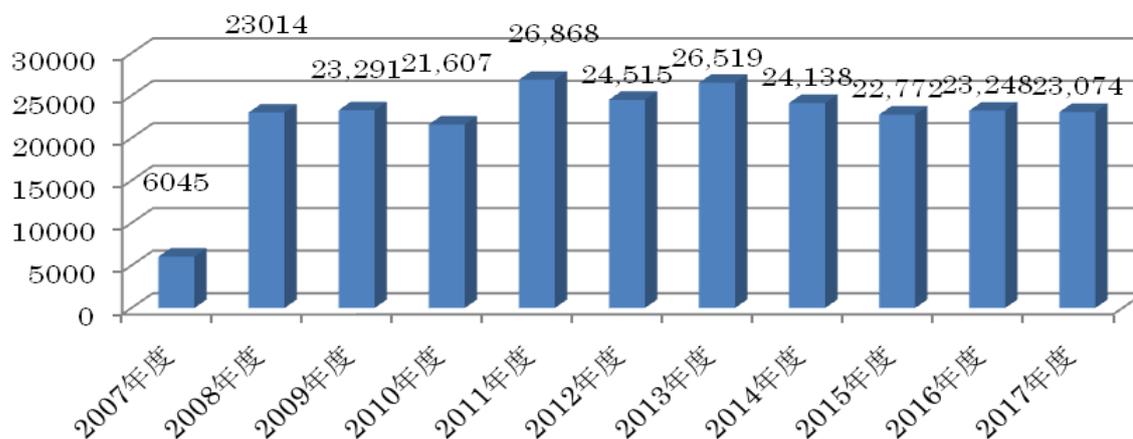
子どもの冒険広場開催実績

	開催日（曜日）	開催時間	利用者数		
			幼・小	その他	計
1	4/1（土）	10時～15時	15	6	21
2	4/22（土）	10時～15時	19	10	29
3	5/6（土）	10時～15時	12	5	17
4	5/27（土）	10時～15時	4	4	8
5	6/3（土）	10時～15時	3	3	6
6	6/24（土）	10時～15時	10	3	13
7	7/1（土）	10時～15時	14	7	21
8	7/22（土）	10時～15時	22	12	34
9	7/29（土）	10時～15時	25	25	50
10	8/5（土）	10時～15時	3	2	5
11	8/26（土）	10時～15時	6	3	9
12	9/2（土）	10時～15時	8	4	12
13	9/23（土）	10時～15時	10	7	17
14	9/30（土）	10時～15時	15	8	23
15	10/7（土）	10時～15時	15	6	21
16	10/28（土）	10時～15時	4	2	6
17	11/4（土）	10時～15時	8	4	12
18	11/25（土）	10時～15時	12	5	17
19	12/2（土）	10時～15時	18	12	30
20	12/23（土）	10時～15時	20	12	32
21	1/6（土）	10時～15時	8	7	15
22	1/27（土）	10時～15時	7	9	16
23	2/3（土）	10時～15時	7	8	15
24	2/24（土）	10時～15時	13	9	22
25	3/3（土）	10時～15時	7	4	11
26	3/24（土）	10時～15時	8	6	14
27	3/31（土）	10時～15時	23	18	41
実施	27回		316	201	517

## 2、循環型まちづくり

### ●廃食油回収

#### 回収実績



循環型街づくりは、できることからはじめよう家庭の廃食油を下水に流さず回収することが環境学習啓発活動にもつながり下水設備の故障原因と配管つまり防止にもなります。

2007年12月から廃食油回収を継続実施しています、回収量が上下しながら推移しておりますが、まだ丹波市内の全ての家庭から廃食油を回収できる体制にはなっておりません。

現在廃食油回収に協力していただいている「青垣町・市島町・柏原町の保健衛生推進協議会」や地域のボランティアと協力して継続回収は実施できたが、市内全域への拡大が出来なかった。



クリーン作戦にて



認定子ども園

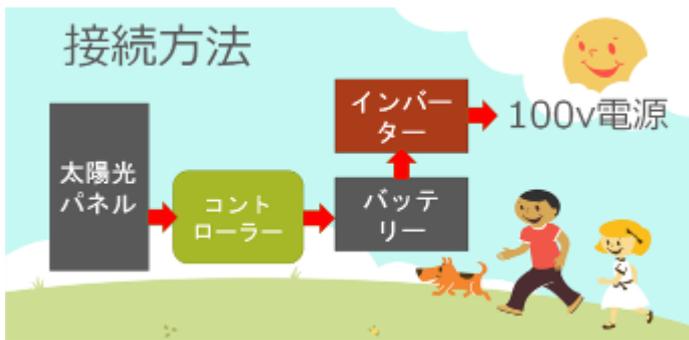
## 3、自然エネルギー活用

### オフグリッド・ソーラー・バイオマス発電

オフグリッド発電設備を2014年3月から設置している理事宅2軒の修理を行いバッテリー取り換え、配線切れの修理で回復し継続利用できています。

[解説] オフグリッドとは

オフグリッド太陽光発電システムは太陽光で発電した電気をバッテリーにため、ためた電気を自由に利用できる利点があります、実証実験では夜間の人感知式の玄関灯に利用しています。



オフグリッドの仕組み

設置しているセット

兵庫県地球温暖化対策推進計画の地域創成！再エネ発掘プロジェクト事業において、ソーラーシェアリング（太陽光パネル 10kw 設備）を提案し応募計画を議論しましたが、20年の無利子貸付資金返済シュミレーションを審議の結果断念しました。

## 4、広報活動

ホームページや facebook 等の SNS の活用を行うことができた。冒険広場にもインターネットを通じて情報を見て参加された家族がありました。

地域コミュニティラジオ FM805 たんばの応援団として番組出演と毎日 10 秒コマーシャルで、毎週土曜日、里山ごんげんさんで子どもの冒険広場開催中の宣伝を流しています。

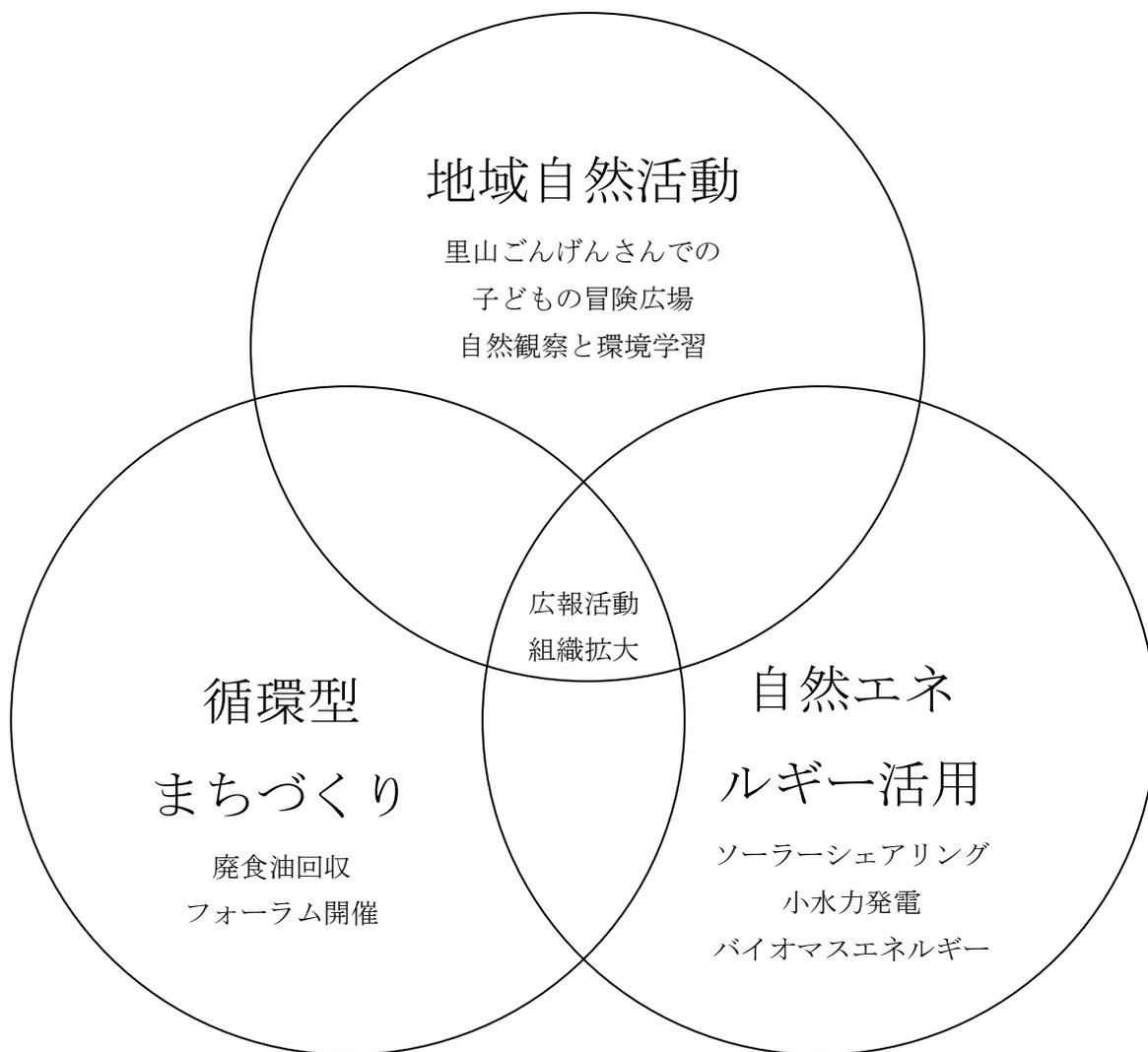


<http://bf.tamba.tv>



<https://www.facebook.com/tambasatoyama/>

## 2018年度事業計画



子どものころの体験がその後の大人の人生に影響します。子どもの時に大人と自然のなかで過ごしたことがある子どもは一生、自然と環境に対する興味を持ち続けるということが実証されています。

思い出作りを大切に、いかに自然に触れる機会をふやすか、里山ごんげんさんを利用して子どもの冒険広場を開催して気軽に参加できるように取り組んでいきます。

自然に触れたからには自然からのエネルギーも利用できる体験活動と環境学習を行っていきたい。

### 1、地域自然活動「里山ごんげんさんの利用」

子どもの自然体験はあらゆる発達を促すことは広く知られており実践もされていることは周知のことですが丹波地域でも実際には、緑に囲まれた自然の中に暮らしながらも、丹波地域の子どもたちも都会の生活と同じように、山へ入り遊ぶ習慣が失われ、地域の里山での自然に触れた貴重な体験をせず育つ割合が多くなっています、地域資源である里山で遊ぶことが貴重な体験となります、自然体験を多くの子どもたちに経験してもらう機会や場所を提供していくことが地域を再発見する自然活動につながります。

## ●子どもの冒険広場



丹波市に住む子どもたちでさえ裏山で遊ぶことが無くなりました。この自然の中で少しでも楽しい思い出を残すことが自慢のふるさとを残す、ふるさとを大切にする思いを強くします。

自然の中で遊びを考えだせる子どもは発想が豊かで、自然を大切にする大人となって再び故郷に戻ってきてくれます。

兵庫県青少年本部が提唱する子どもの冒険広場事業に参加し、毎週土曜日に「子どもの冒険広場」を開催、第5土曜日を中心に里山コンサートを開催し地元のミュージシャンの紹介をしながら、はじめての里山体験者を増やし、知名度アップに努めていく。

今年度は冒険広場を開催すると共に集まった子どもたちと保護者に環境学習も取り入れていくため森の幼稚園や日本野外活動推進協会(ムッレ教室)の活動を学んだ成果を生かしていきます。

また、里山ごんげんさんでは、里山の自然の中で遊ぶ楽しさをより多くの子どもたちに知ってもらうため、森の幼稚園、地域の子ども園、小学校の遠足、自然観察、環境学習の場としての利用を継続して受け入れて行きます。

## 2、循環型まちづくり

私たちの「いのち」は空気や水、土から恵みを得て生まれ、成長し、次の「いのち」へと繰り返されてきた自然の循環です。それをなおざりにしたとき、私たちの生存を脅かす環境問題が次々と起こってきました。今こそ、生活のしかたを見つめ直し、助け合い、人類が初めて直面している地球規模の環境破壊を食い止め、失ったものを取り戻すために立ち向かわなければなりません。それは、同時に、循環の持つ意味を改めて問い直し、豊かな心の復活を目指した自然と共生する新しい社会を創造することではないでしょうか。人や動植物のいのちの循環を目標に掲げ、100年後の子どもたちが豊かな心で自然を享受できるよう、行動し、その輪を広げるように努めます。

循環型まちづくりを目指して取り組んでいる廃食油回収、地域エネルギーの有効活用を行っていきます。

## ●廃食油回収



廃食油回収を継続実施し、丹波市内の全ての家庭から廃食油を回収できる体制づくりをさらに進め、各地域での常時回収施設の開拓を行っていきます、コンビニや農産物直売所に廃食油回収ボックスを設置し何時でも、資源リサイクルできる環境をつくり地域で身近な存在となるよう活動を進めて行きます。

左は丹波市春日町中山・ヤマザキショップ  
廃食油回収委託先の浜田化学株式会社とも連携して、丹波市保健衛生推進協議会、学校給食センター、市内の飲食業、スーパー、コンビニでの回収も継続して行います

## 3、自然エネルギー活用

太陽光、風力、小水力、バイオマスなどなど、あらゆる地域資源を地域活性化と結び付けながら有用性をわかりやすく実証するため、オフグリッド発電設備を増やしていきます。

また原発の危険性と、新エネルギーを考える活動にも積極的に参加していきます。

## ●原発の危険性を考え、新エネルギーをすすめる活動

近隣の活動団体に参加し学習を進めていきます、また（原発の危険性を考える宝塚の会）（NPO 法人新エネルギーをすすめる宝塚の会）へ継続参加していきます。

## 4、広報活動

私たちの活動をもっと知ってもらうため、また会員拡大のため、わかりやすい広報活動を進めて行きます、ホームページやSNSの活用を行います。

また地域コミュニティ FM 放送局応援団に加入し里山ごんげんさんでの活動を放送したり毎日10秒の子どもの冒険広場開催告知もしています。

今後とも地域での活動に、ご理解、ご協力いただける体制をとっていきます。